

個人質問 岡田はるか



イラン戦争の影響 から暮らしを守る緊急対策を

市に対して影響調査をおこなうことを求めましたが、市長は「商工団体や金融機関など関係機関との情報共有を図り実態把握に努め、支援策の検討につなげていく」と答弁し、調査については明言しませんでした。

次に、国へ物価高騰に合わせた支援をおこなえるよう、追加の財政措置や事業者支援の特例措置の働きかけを求めました。市長は国に「さらなる支援策を講じていただく必要がある」とし、「実効性のある財政措置が講じられるよう働きかけていく」と答弁しました。

街路市の活性化について

地元紙でも報道されていますが、日曜市の開催時間短縮が検討されています。この重要な課題もふくめ、曜市150周年を迎えることを契機に街路市出店者の全体会を開催することを提案しました。商工振興部長は「出店者との意思疎通は街路市の活性化にとって大切」とし、「全体会の開催についても必要に応じて検討する」と答弁しました。

同性パートナーが利用できる 行政サービスの拡大を求める

昨年9月、政府は男女の事実婚を対象に含むとしている法令のうち、33法令について同性パートナーも「事実婚に含まれる」としました。高知市でも、その中のひとつ災害弔慰金の対象になるのか質問。健康福祉部長は「対象となると考えるが、国から具体的な財政措置や事務対応について示されておらず、情報収集に努め適切に対応していく」と答弁しました。

個人質問 浜口かず子



「新県民体育館」整備 は防災力向上に寄与するのか?!

南海トラフ地震で2mも地盤沈下し、津波が押し寄せる場所への新県民体育館の整備、とりわけ地下駐車場の件は、県のパブリックコメントでも最多の反対・見直しの意見が寄せられ、地域からも疑問や不安の声が多く聞かれます。市長に防災面から認識をただすと、県の説明そのままに、豪雨対策にしかならない「止水板や土嚢等の設置の対策を講じる」などと答え、市民の不安に向き合う姿勢は示されませんでした。

また、新体育館の「緊急避難場所」はアリーナ2階席とサブアリーナの屋上になります。大規模イベントが重なれば地域住民は避難できず、防災機能の強化が図られたと言えるのかとの質問に対し、市長は、現体育館には「緊急避難場所」の指定がなく、現状を大きく上回る防災力を持つと答えました。本当に市民の命が守れるのか疑念はぬぐえません。

市立特別支援学校スクールバスの 地震・津波対策を求める

特別支援学校のスクールバスの送迎ルートは、南海トラフ地震による津波浸水地域を通ります。地震・津波対策「マニュアル」に沿った訓練やバスの備蓄の状況を問うと、教育長は、取組みはできておらず、今後、保護者らの意見を伺いながら、他校の先行事例に学んで検討を行い、訓練の実施、備蓄の充実を図っていくと答えました。児童・生徒の命を守る取組みの具体化が急がれます。

個人質問 藤木真由美



地域書店とともに、 子どもの読書環境を守る

学校図書の購入をめぐり、過度な価格競争によって地域書店が圧迫され、地域から書店がなくなることへの懸念を示しました。学校図書館は、子どもたちが本と出会い、学びを深める大切な場所です。教育長は、地域書店を「読書環境を醸成する連携パートナー」と位置づけ、競争性、公平性、透明性を確保しながら適正な調達に努めると答えました。地域書店と連携し、子どもの読書環境を守る取組を求めました。

若者が迷わず相談できる、切れ目の ない支援を

不登校やひきこもり、就労、生活、心身の不調など、若者が抱える悩みは複雑です。しかし、相談窓口が分かりにくく、一人で抱え込むケースもあります。庁内各部署や学校、地域、関係機関が連携し、若者の声を丁寧に聴く包括的・重層的な支援体制を求めました。市は、相談窓口の周知と早期支援に努め、こども向けホームページでも窓口を紹介すると答えました。

* * * * * *ご要望など、お気軽におよせください。* * * * *



浜口かず子
経済文教委員



下本ふみお
厚生委員長



岡田はるか
総務副委員長



宮本なおき
建設環境委員



ふじき真由美
厚生委員

消防広域化調査特別委員